

生と死と愛と

「生かすか死か」

ある知人のお宅に訪問した時のことである。話が長引き、夕食の時間になってしまい、私も一緒にいるようにお誘いを受けた。食事の際、彼のご家庭はクリスチャンであるので、神様に祈りを捧げる。「天にまします私たちの神様！今日もあなたのお恵みで家族が共に食事ができることを、また品川先生が我が家を訪れてくださったことを、我が主イエスの名において感謝いたします、アーメン！」日常茶飯事の文字通り、毎食事に神様に感謝の祈りをささげるのは、筆者のような無信心者には、いささかシンドイように思われた。すると食後のコーヒーを淹れながら、知人は言った。「品川先生、私たちクリスチャンは、毎日毎時に神の御手の奇跡を感じながら、その感謝の心を表します」「三度の食事の度に、奇跡が起こること」「はい、今日、品川先生が無事にお出でになったこと、家族が無事に一日を過ごせたこと自体が奇跡なんです。それまで、奇跡とは「海が真二つに分かれる」とか「日照りに突然雨が降る」とか、超自然現象が起こること私は思い込んでいた。だから、ご家族と一緒に食事を取ることが奇跡とは、いくら信仰心が厚いとしてもいささか考えすぎなのでは？

その時、TVで幼児誘拐のニュースが報道されていた。その朝、元氣に出ていったわが子が、無惨な姿で発見されたのである。いま悲嘆の極みにある母親には、「ただいま、お腹すいた〜」と言いなから玄関に入ってくる、あの「何時もの子どもの姿が奇跡であった！」と思われていることだろう。実は、奇跡は毎日毎時に起こっている。ただ、私のような無信心の者には、なかなか「神様に生かされてある命」（奇跡）が理解できていないのである。

(品川 博二/ケアカウンセラー)

人は死んでも生き返るのですか

(石原 由香さん 13 小田原市)

長崎県と兵庫県で、小中学生を対象に「生と死」の意識調査が行われました。いずれの県でも過去に全国を震撼させた少年事件があったところです。この県で二割程度の人が、「人は死んでも生き返る」と考えているそうです。理由は、「テレビや映画で生き返る話を聞いたことがある」とか、「ゲームでリセットできる」ということであります。「人は死んでも生き返る」と信じて自殺や他殺へと傾いていることが大きな問題です。しかし

みなさまからの仏事に関する質問をお待ちしております。お気軽にお寄せください。採用分には薄謝進呈いたします。

みなさまの声をおよせください

必要事項をご記入の上、官製はがきでお送りください。抽選で3名の方に全国の加盟店でご利用できるグルメカードをプレゼントいたします。

1. 郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号 2. 本紙に対するご希望 3. 本紙で面白かった記事 4. 本紙に対するご意見・ご感想・ご質問等 5. あなたが最近興味を持っている事

●宛先 〒254-0053 平塚市桜ヶ丘1-35 平安レイサービス(株) 湘和会堂「KOKO」44号読者プレゼント係

●締切 平成19年10月末日当日消印有効

●本紙45号(平成20年1月発行予定)にて当選者発表

★前号当選者★
 渋谷 順子様(藤沢市)/片平 洋子様(藤沢市)
 /田中 政江様(平塚市) 以上グルメカード3名様。ご応募ありがとうございました。

PRESENT

グルメカード 3000円相当 3名様

※前号「HELLO! お坊さん」記事中「路地庭」は正しくは「露地庭」(茶室に向かう庭)の誤りでした。お詫言いで訂正させていただきます。

HELLO! お坊さん

天台宗 坂東七番 金目山 光明寺 平塚市南金目

「常楽我浄のころ」 十句観音経を唱えましょう

住職 大久保 良允

私どもの寺は坂東三十三観音の七番にあたり、ご参詣の方が大勢お見えになります。私はその方々に、「十句観音経」をお唱えすることを勧めしています。「観世音 南無仏 与仏有因 与仏有縁 仏法相縁 常楽我浄 朝念観世音 暮念観世音 念念從心起 念念不離心」という大変短い経文で、たくさんの霊験があると伝えられています。

この中で大切なのが、「常楽我浄」の四文字です。私たちはこの世にあって、すべては「無常」であり、苦しみに満ちていると嘆

いています。また、自分の思うようにならず、煩惱に満ちて不浄だと悲しんでいます。しかし、無常なるが故に楽しみがあり、喜びも生まれる。自分のことだけでなく、他人の利益を考えると、すべてが美しく澄んで見えるものです。

観音経の中にある「真観・清浄観・広大智慧観・悲観・慈観」の五観によってこの世をご覧になる観音様の悟りをありがたく思うことで、「常楽我浄」の悟りの四徳が得られると言われています。「十句観音経」を唱えることにより、日々の幸が得られることをご祈念申し上げます。

中高年からのパートナーシップ

60前後の男性に仕事を辞めたら何をしたいかと尋ねると、ほとんどの人から2番か3番目と奥さんと二人で旅行したいという答えが返ってきます。夫はこれまで家庭を任せきりにしてきた妻への感謝の気持ちから、一生懸命旅行の計画を立てるのですが、夫婦水入らずの熟年旅行を楽しむにできる奥様はそう多くはないようです。

普段から意思疎通が出来ていなければ夫婦旅行も楽しいのですが、時には、お前は黙って着いてこい、と、相手の都合も行きたくない場所も聞かずに勝手に計画したものの、肝心の奥様が同意してくれないことも、まずは互いのライフスタイルやスケジュールを把握していないと、心のずれ違いが歴然として、せつかくの思いやりも台無しです。

今まで後回しにしてきた夫婦の会話…多少の意見の相違は覚悟の上で、これから二人がどんな生活をしたいのか、そろそろ夫婦で率直に語り合ってみては。特に退職後の生活は、夫婦二人だけで共有する時間も長く、年齢も考えた上で二人にとって快適な生活スタイルを見つける必要があります。できれば、いつ(から)、どこで、何を、誰と、どんな風にしたいのかなど、なるべく具体的に互いの希望を聞いてみて、話し合いの中からふたりが共有できる計画が見つければ何よりですが、そうでなくとも、夫婦の関係を直す良い機会になるのではないでしょう。

(保林 郁夫・康子/横浜ライフキャリアセンター)

その中に、うちの子は先生が病室に来るのを楽しみにしていました。先生が大好きでした、というようなことが書いてあったのです。その子はまたご両親の中で生きていて、「ご両親の意識と口を借りて私にメッセージをくれたのだと思いました。ご両親の中にも、僕の中にも、まだ思い出が残っている限り、その子は完璧に消えてしまっただけではありません。かえって、純化されて生きていけると言えるかもしれない。親より早く死ぬ子は絶対にいないと言った人がいましたけれど、確かにそうだと

として障害をもっている子を大事にする土俗信仰のようなものが、日本の所々に残っていました。命をもらうということがとても大変なことで、生きていく限りはみんな大事にしよう、昔の人は自然に感じていたのだと思います。自分が何ともなければ他の人のことは考えないほど、世知辛くなってきたり、死め時まで生きていける」といふことが、大切な原則です。



生き、死にの話を子等と油照り

嘔々

小児科の医者になって、こんなにたくさん死ぬ子を見ようとは思いませんでした。小児がんは今では不治の病ではありませんが、僕が研修医の頃は、まだ日本では治療法が確立してなくて、亡くなってしまう子を何人も見るようになったわけです。毎年10人ぐらいずつ見送っている勘定になるので、300人から400人近くは命にかかわったと思います。その経験が多くなりすぎて、死ぬこと、生きることの境目が、だんだん分からなくなっている。変な言い方ですが、死んだ人も、死んだというより「死んでいる」と言った方がいいぐらいに、まだ存在しているような感覚が僕の中にあります。

「生き死にの話を子等と油照り 嘔々」 この秋に出版する、僕の第二句集の中に収録した俳句です。この頃、子どもたちに命についての話をしに行くことが多くなりました。人が生きていくということも、何回も生きさせたら100%生まれませんが、人間はとも高知なので受精しても30%ぐらいしか生まれません。きちっと人生を楽しめるようになった人だけが外へ出てこられるように、神様が考えたわけです。その少ない中でも、染色体の異常や心臓などに欠陥をもつて生まれる子がいます。昔はコミニティーを発展させる福を運んでくる子ども

●ほそや りょうた 1948年、山形県生まれ。東北大学医学部卒業後、聖路加国際病院小児科に勤務。1978年から3年間、小児がんの先進的治療習得のため、テキサス大学MD、アンダーソン病院がん研究所にクリニカルフェローとして赴任する。現在、聖路加国際病院副院長・小児科部長。俳人でもあり、俳号は「嘔々」。家庭では三男一女の父。著書には「いつもいこさかしー小児科医が見た日本の子どもたちとおとなたち」(暮らしの手帖社)、「11の見える病院から」、絵本「ぼくのいのち」(いずれも岩崎書店)、「命のノート」(講談社)、「医者が泣くということ」(角川書店)など、病気の子どもたちを温かな眼差しでとらえた作品を中心に多数。

KOKO PEOPLE 細谷亮太

M Y T O W N

わたしのとおきの お店

イタリアンレストラン Trattoria il Passo

トラットリア・イル・パッソ 茅ヶ崎市幸町 24-13 TEL.0467-28-7737

新鮮な食材を生かした旬を味わうイタリアン

茅ヶ崎駅南口、雄三通りから路地に入ったところに06年オープンしたイタリアンレストラン。鎌倉の名店「アンセルモ」で修業をしたシェフが作るの、魚介や野菜を使った南イタリア地方の料理。毎日市場まで足を運んで仕入れる朝採れの鎌倉野菜や、近隣漁港の鮮魚など、食材に恵まれた茅ヶ崎ならではの地を生かした、新鮮な旬の素材を堪能できるメニューがそろそろ。平日のBランチ(1500円)では、日替りの前菜4種盛りと、6種から選べるパスタがセットに。パスタは、店の看板メニューでもある自家製手打ちニョッキのゴルゴンゾーラソースのほかに、写真の秋刀魚のスパゲティーなど週替わりのパスタが5種。手作りのスイーツ

営業時間 11:30～15:00(ラストオーダー14:30)、17:30～22:00(ラストオーダー21:00) 水曜定休・駐車場2台(無料) http://www.il-passo.net/

も常時8種がそろい、プラス300円で、好きなスイーツとドリンクを付けることができる。また、ランチでは、パスタの大盛り無料やホットコーヒーのお替り自由など、嬉しいサービスも。旬の食材を大切に、シンプルに調理した料理は、素材のおいしさがストレートに伝わるヘルシーで優しい味わい。ランチタイムは地元の主婦で満席になることからも、その人気ぶりが伺える。落ち着いた店内で、旬のイタリアンを味わいながら、湘南らしいゆっくりとした時間を過ごして。



読者プレゼント

細谷亮太氏サイン入り著書『医者泣くということ』(角川書店)を5名の方にプレゼントいたします。ご希望の方は、下記の必要事項およびご希望の本のタイトルをご記入の上、官製はがきでお申し込みください。

1. 郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号 2. インタビュー記事のご感想 3. 本紙で面白かった記事 4. 本紙に対するご意見・ご感想 5. あなたが最近興味を持っている事 6. ご希望の本のタイトル

●宛先 〒254-0053 平塚市桜ヶ丘1-35



平安レイサービス(株) 湘和会堂「KOKO」44号特集インタビュープレゼント係

●締切 平成19年10月末日当日消印有効

●本紙45号(平成20年1月発行予定)にて当選者発表

★前号当選者★中島 ユウ子様(藤沢市)/石倉 英子様(平塚市)/鳥居 滝子様(秦野市)/重木 久子様(小田原市)/房州 とし子様(小田原市)/山本 エミ子様(相模原市)/以上6名様。たくさんのご応募ありがとうございました。